

横浜市立幸ヶ谷小学校 学校だより

KOU KOU Newsletter

4月号

学校教育目標:「自分 友だち 社会の幸せをつくる子ども」

令和6年4月8日発行
横浜市立幸ヶ谷小学校
TEL (441)3170
FAX (441)9896

Web Site <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kohgaya/>
E-mail y3kogaya@edu.city.yokohama.jp



自分 友だち 社会の幸せをつくる

校長 谷石 宏之

子どもたちの入学、進級を待っていたかのように、横浜市内でも桜の開花を報せる便りがようやく聞こえてまいりました。学校の周辺も春の装いが増し、街を歩いていても楽しい季節となりました。



このたび、4月1日付で校長として着任いたしました、谷石宏之(たにいし ひろゆき)と申します。歴史ある幸ヶ谷小学校の校長を拝命し、身の引き締まる思いです。これまで、幸ヶ谷小学校の教育にご尽力いただきました本庄校長先生の後を引き継ぎ、子どもたちのために、教職員とともに精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

どんな一年間を過ごしていこうかと、着任後すぐに学校教育目標である「自分 友だち 社会の幸せをつくる子ども」について考えてみました。「自分」はもちろんですが、友だちという「相手」、社会という「集団」に対象を広げ、人とのかわり、つながりを大切にできる子どもたちになってほしいと考えました。また、「幸せをつくる」ことは大きな目標であり、子どもたち自身が能動的に行動を起こすことを目指しています。

日常生活を大切にしながらも、積極的に自分の考えを発信し、自ら行動を起こせるようになってほしい、と考えました。

実現に向け、どのような教育活動を展開していけばよいかを考えることがとても楽しみになったと同時に、子どもたちの成長に向け、とても大きな重責を負っていることを再認識いたしました。

着任後、これまでに築いてきた幸ヶ谷小学校のよさを教職員と確認いたしました。他にもたくさんありましたが、私が聞いて印象的な意見をまとめてみました。

「学ぼうとする知的好奇心が高い」 「教師の話を、非常に素直に受け入れる」

「歴史と未来が融合した地域」 「保護者、地域の皆様とともに学ぶ機会が多い」

これまでの教育活動の積み重ねとともに教職員のみでは幸ヶ谷小学校のよさを実現することは難しいことを実感しました。PTA、共育倶楽部、おやじの会、地域の皆様には、子どもたちのために、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

本日、新たに112名の新1年生を迎え、令和6年度は、700名を超える児童数で「自分 友だち社会の幸せをつくる子ども」を目指す一年がスタートをきりました。最上級生となる6年生は、5日に入学式準備で登校し、学校を引っ張っていこうとする意欲を見せていました。2～5年生もほどよい緊張感のもと、進級の日を迎えたのではないのでしょうか。そして、入学したぴかぴかの1年生を迎え、学校生活が喜びと楽しさに溢れるものとなるよう、教職員一丸となって教育活動に邁進してまいります。一年間、どうぞよろしくお願申し上げます。